



# 岐阜大学機関リポジトリ

## Gifu University Institutional Repository

|            |   |
|------------|---|
| Title      | ジェイムズ・ラッキントンを中心とした18世紀末イギリス書籍商の研究(表紙, はしがき)   |
| Author(s)  | 内田, 勝   |
| Report No. | 平成16年度-平成17年度科学研究費補助金(基盤研究(C)一般 ヨーロッパ語系文学 課題番号16520140) 研究成果報告書                               |
| Issue Date | 2006-03   |
| Type       | 研究報告書   |
| Version    |   |
| URL        | <a href="http://hdl.handle.net/20.500.12099/2767">http://hdl.handle.net/20.500.12099/2767</a> |

この資料の著作権は、各資料の著者・学協会・出版社等に帰属します。

研 究 成 果 報 告 書

---

ジェイムズ・ラッキントンを中心とした18世紀末イギリス書籍商の研究

---

16520140

平成16年度～平成17年度科学研究費補助金  
(基盤研究(C)) 研究成果報告書

平成18年5月

研究代表者 内田勝  
岐阜大学地域科学部助教授

は し が き

18世紀末のロンドンで活動した書籍商ジェイムズ・ラッキントン (James Lackington, 1746-1815) は、それまでのロンドン書籍販売業界の商慣習を破って売れ残り本の安売りをを行い、薄利多売の方針と徹底した現金取引へのこだわりによって財を成した革新的な商人であると同時に、『ジェイムズ・ラッキントン四十五年の半生の回想』 (1791年) などの自伝によって、彼が生きた時代のイギリスの書籍販売や読書行為の現状を生々しく伝えた文人でもあります。今回の研究では、ジェイムズ・ラッキントンに的を絞り、活版印刷文化が本格的に一般民衆に浸透していく18世紀末のイギリスで、ラッキントンが本を売る行為と本を書く行為がどのような意義を持っていたかを検証してみました。

以下に私が発表した論文「読書の伝道者、ジェイムズ・ラッキントン」を挿入し、研究成果報告書に代えさせていただきます。

#### 研究組織

研究代表者 : 内 田 勝 (岐阜大学地域科学部助教授)

|        | 直接経費  | 間接経費 | 合計    |
|--------|-------|------|-------|
| 平成16年度 | 700   | 0    | 700   |
| 平成17年度 | 600   | 0    | 600   |
| 総計     | 1,300 | 0    | 1,300 |

#### 研究発表

(1) 学会誌等

内田勝「読書の伝道者、ジェイムズ・ラッキントン」

『岐阜大学地域科学部研究報告』第18号、2006年2月28日

(2) 口頭発表 なし

(3) 出版物 なし

研究成果による工業所有権の出願・取得状況 なし